

平成28年度 甲府中学・甲府一高 同窓会定期総会

平成28年5月21日(土) 午後1時30分

甲府富士屋ホテル 2F バンケットホール桃源

実行委員会 昭和59年・平成13年卒業生

次 第

- 1 開会の言葉
- 2 会長あいさつ
- 3 校長あいさつ
- 4 議長選出
- 5 議事・報告
 - (1) 平成27年度庶務報告承認について
 - (2) 平成27年度会計報告承認について
 - (3) 会計監査報告
 - (4) 平成28年・29年度役員人事案承認について
 - (5) 平成28年度予算案承認について
 - (6) 次年度定期総会実行委員会当番学年委嘱について
 - (7) その他
- 6 奨学金授与
- 7 日新基金報告
- 8 来賓紹介
- 9 祝辞
- 10 閉会の言葉

平成28年5月21日 日程

定期総会 受付 12時30分開始

<第一部> 甲府中学・甲府一高同窓会 定期総会
午後1時30分 2階 バンケットホール桃源

<第二部> 甲府中学・甲府一高同窓会 懇親会
午後3時30分 1階 グランドホール昇仙閣

懇親会次第

- 1 開会のことば
- 2 校旗入場
- 3 校歌・応援歌斉唱
- 4 物故者への黙祷
- 5 アカペラ部演奏
- 6 同窓会長あいさつ
- 7 母校校長あいさつ
- 8 来賓紹介・祝電披露
- 9 実行委員長あいさつ
- 10 乾杯
- 11 歓談
- 12 ブラスバンド演奏
- 13 東京同窓会あいさつ・お知らせ
- 14 目録贈呈
- 15 引継式
- 16 次年度実行委員長あいさつ
- 17 万歳三唱
- 18 閉会のことば

平成28年度・平成29年度 同窓会執行部役員人事(案)

役職	卒業年度	氏名	
会長	(S38年卒)	金丸 信吾	
会長代行	(S39年卒)	宮島 雅展	
副会長	(S42年卒)	茂手木 寛	
副会長	(S46年卒)	長田 達機	
副会長	(S47年卒)	末木 浩一	
副会長	(S48年卒)	石原 三義	(配置換)
副会長	(S49年卒)	中込 裕	
副会長	(S49年卒)	秋山(浅川) 宏子	
副会長	(S51年卒)	水村 勝	
副会長	(S52年卒)	斉藤 義一	
副会長	(S56年卒)	依田 訓彦	
監事	(S45年卒)	露木 和雄	(新任)
監事	(S50年卒)	大久保 広行	
監事	(S57年卒)	吉澤 直人	
庶務	(S49年卒)	竹内 浩二	(配置換)
会計	(S53年卒)	中澤 謙一郎	
事務局長	(S43年卒)	金子 寛	
事務局次長	(S58年卒)	山本 淳仁	(新任)
顧問	(S34年卒)	大西 勉	

石橋湛山記念財団入会の案内

財団法人 石橋湛山記念財団について

◇設立の趣旨と目的

財団法人石橋湛山記念財団は、故石橋湛山先生が明治末年より大正・昭和の三代にわたって、わが国の政治・外交・経済・社会・文化の広い分野に、評論家・思想家・警世家として活躍された業績を記念し、先生の哲学・思想体系を継承発展させ、真に公正妥当な言論の育成と確立に貢献することを目的として、1973(昭和48)年に設立されました。

◇おもな事業

- 1 政治・経済・外交・社会・文化等に関する調査研究ならびに発表
- 2 前記の各分野に関する特定の研究に対する助成ならびに優秀な論文・評論などに対する褒章
- 3 財団所蔵の図書・資料等の整理ならびにその研究者・賛助会員等に対する閲覧

◇賛助会員制度

財団法人石橋湛山記念財団の設立趣旨に賛同し、その事業を展開させるために支援を寄せられる個人・法人・団体を賛助会員とします。会員には財団の発行する機関紙を頒布し、財団所蔵の資料図書の利用、財団主催の会合等に出席の便が受けられます。

賛助会員の会費(年会費)は次の通りです。

法人(1口) 5万円 個人(1口) 2万円

入会方法

入会申込は、封書でも葉書でもFAXでも、下記の申込宛先と要領でしていただければ、財団から連絡があります。

入会申込書

財団法人石橋湛山記念財団の賛助会員として入会を申し込みます。

但し 個人会員・法人会員 (口)

(該当するところに○印をお付けください)

平成 年 月 日
ご住所(又は所在地)

ご芳名(又は法人名)

Ⓜ

代表者名

(事務・会計連絡者)

財団法人石橋湛山記念財団
理事長 石橋省三殿

入会申込宛先

〒103-8345
東京都中央区日本橋本石町1-2-1 東洋経済ビル

財団法人 石橋湛山記念財団
理事 著 石橋省三

TEL・FAX 03-3270-8070